



うれしいお知らせ

2月になりまして、うれしいお知らせが2つほど届きました。1つは、年長児が春から秋にかけて取り組んでいたトマトの栽培とその実を使った食育活動をまとめたレポートが評価されたことです。カゴメの「りりこわくわくプログラム」でりりこ賞を受賞しました。こども園幼稚園部門では、全国で1園しか選ばれない賞です。受賞理由は、園児なりの栽培の工夫や調べ学習がとても素晴らしかったというだけでなく、ご家庭での保護者の皆様と調理を通じた対話や食育につながっていたことだそうです。まさに、園とご家庭との連携でおこなった食育や命に関わる保育が認められた賞でした。そしてもう1つは、ソニー幼児教育支援プログラムの「科学する心を育てる」ための保育実践論文募集に応募した本園の実践論文が、「奨励園」賞を受賞したことです。論文といっても本園の場合特別のことをしているわけではなく、保育者が日頃から子どもたちの「なぜだろう」「ふしぎだな」「確かめてみたい」などの主体的な思いを拾い、支援をしている様子をまとめたレポートです。そんな日頃の支援が、子どもたちの「科学する心」を育てていることにつながっていると評価されたのでした。



上の写真のように、法律で定められた「避難訓練」や「交通安全教室」だけでなく、運動会や発表会のように行事だけに追われるのでもなく、日々の保育の質の向上にも心がけて、これからも未来をたくましく生きる子どもたちの素地となる力を育てていきたいと思っております。

3月の主な予定

- 5日(火) 音楽遊び
- 6日(水) ALT来園
- 8日(金) 発育測定
- 15日(金) 支援センターイベント
- 13日(水) 避難訓練
- ※4日～8日 ありがとうウイーク

- 22日(金) 教育部修了式
- 23日(土) 卒園式
- 30日(土) 保育部修了

卒園式

23日(土)の

卒園式は年長組親子が参加します。
当日は、乳児組と年少組、年中組はお休みになります。(土曜保育はありません)

卒園式が終わると次の週から、順次保育室を新年度用に整備していきます。3月中に登園する保育室が進級する部屋へと変更になりますことをご理解ください。

なお、30日(土)には、進級後に向けた保育環境の整備作業を終了させたいと予定しています。この日の土曜保育のご利用はできる限り控えていただくとありがたいです。

4月の主な予定

- 1日(月) 保育部在園児保育開始
- 4日(木) 入園式(新入園児親子のみ参加) 9:30～
- 5日(金) 教育部始業式 11:00降園
- 8日(月) 教育部4・5歳児給食開始
- 9日(月) 発育測定
- 12日(金) 避難訓練
- 15日(月) 教育部3歳児給食開始

※令和6年度の入園式(4日)

新入園児のお子さんと保護者の方の参加でおこないます。

保育部の在園児は通常保育です。教育部の在園児はお休みです。

令和5年度のアンケート回答ありがとうございました。皆様の御協力感謝いたします。園評価委員会を終え、**アンケート集計結果等はホームページに掲載しました**のでご覧ください。以下はいただいたご意見の一部と園の考えている対応です。

まずは、本園の取り組みについて認めてくださったご意見です。お褒めの言葉に対し職員もこれからも保育の質の向上に努めていこうと気持ちを引き締めているところです。

- **子供の事を第一に考え、色々と提案をして**いただいています。いつもありがとうございます。
- **いつも子供達の声を聞いてそこから運動会や発表会の出し物を提案してくれたり、子供に寄り添って**くれていると感じます。
- **常に子の意見を優先にし、話し合い、準備や制作などをして**いて感謝につきます。毎日の写真付きの今日の活動報告も素晴らしい試みで、楽しく成長をみさせて頂いています。ありがとうございます。
- **常に子どもの気持ちを尊重し笑顔で接して**くれる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。あと残りわずかですがよろしくをお願いします。

次にご意見要望からです。紙面の関係から2点のご意見を紹介します。ホームページには、皆様から出されたご意見はすべて掲載してあります。

①テレビやインターネットの利用について

- **少し気になったのは、テレビをみたり、iPadを使用したり？まだ幼児期は体の発達段階にあると思うので、その辺りは避けて頂けたら**と思いました。よろしくをお願いします。
- **テレビは家でも見れるのでテレビをみせる時間を減らしてほしい。**
- **YouTubeみせる時間を減らしてくれるといいな**と思いました。

ご意見ありがとうございます。まず、現在の主な利用状況について説明いたします。

- 給食後、職員が個に応じて食べ終わるのが遅くなっている子の支援をしたり、給食の片付けや保育室やランチルームの掃除をしたりしている間の10分程度、乳児や幼児組の一部の子たちが視聴しています。
- おやつ後も同様に、つくし組、すみれ組、ゆり組の子どもたちが10分～15分程度視聴しています。
- 17時15分過ぎから、そのときに在園している子どもたちの人数によって20分～30分視聴しています。

※この3場面に共通しているのは、職員が一部の子の支援を重点的にしていたり、食後の片付けや部屋の掃除、使った用具の消毒作業（感染症予防のためどうしてもこのタイミングで作業する必要があります）をしているため、子どもたち全体を見守る職員が一時的に手薄になることです。過去には、このタイミングでの子ども同士のトラブルや事故も多く見られました。テレビの視聴を取り入れることで、少ない職員数での見守りでも、事故等がほとんどなくなり、トイレ指導なども手厚くできるようになったのも事実です。

次に、どのような番組を視聴しているかを説明します。

- 季節の歌、体操、絵本の読み聞かせ など、保育士や保育関係者などが作成した番組やYouTube
- トムとジェリー、アンパンマン、しまじろうなど 無料で公開されているアニメなどの番組やYouTube
- 英語活動で利用した、英語の歌やアニメに関わる番組やYouTube

※その場に集まった子どもたちのリクエストなども聞きながら、見守り担当の職員が機器を操作します。他の職員の作業が終わり次第、途中でも視聴をやめて移動するようにしています。

このほかに、たんぼぼ組や、ゆり組などは、保育の中で子どもたちが持った「疑問」や「興味」などに迫る手段として、絵本や、人への取材とともに、保育教諭の支援の下でiPadを使用したりインターネットでの検索をしたりすることもありますが、これは不定期的です。

なお、iPadは伊豆市から子どもたちが使用するように園に1台貸与されています。（小学校1年生からは、子ども一人1台の貸与になり、授業でこのようなICTを活用しなくてはならないことが、国でも示されています。）市としては、家庭環境にかかわらずどの子どもも就学前に、ICT活用に向けての簡単な経験を重ねることを期待しているでしょう。

以上のことから、テレビ視聴やICTの利用について全面的にやめるのが難しい現状です。視聴する時間や、内容については今後も検討を進めていきたいと考えておりますのでご理解下さい。

もちろん、子どもたちにとって最も大事な直接体験する保育や、実際の物や生き物に触れる活動はこれからも大切にしていきます。むしろ直接体験や現物に触れながら経験や考えを広げる保育は、本園が他園に誇れるところであると自負しています。

②(乳児組でも)散歩の様子、外出先での様子写真に残せる範囲で思い出があると嬉しいです。

ご意見ありがとうございます。保育中の子どもたちの様子を保護者の皆様に紹介できるようにそれぞれのクラスで取り組んでいるところではありますが、とくに乳児組の子どもたちの動きは、予想ができないことも多いものです。ある程度動きが落ち着いてくる幼児組では、カメラで写真を撮るタイミングも取りやすいのですが、衝動的な動きが激しい乳児組の子どもたちでは、写真を撮るために目を離れた際に、けんかや事故が起きることも多いのです。子どもの安全確認を最優先しているため、乳児組はどうしても写真の枚数が少なくなってしまうのです。

